

IV 第48回市政に関する世論調査の結果

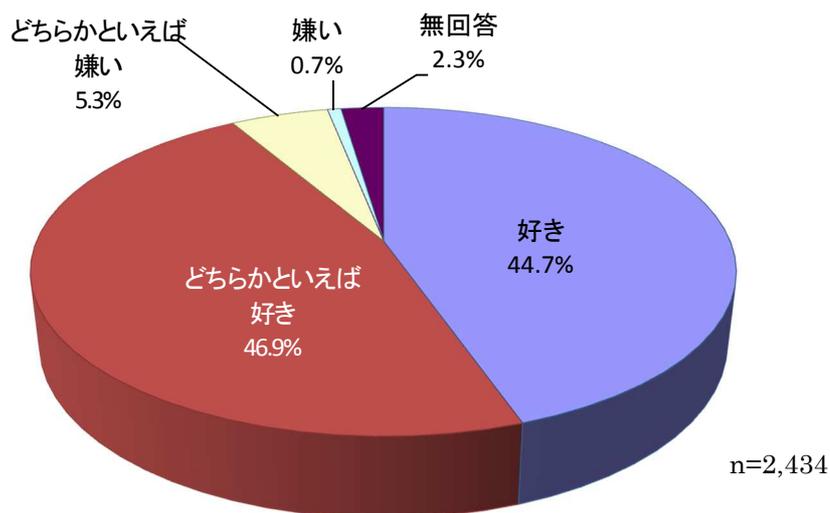
1. 宇都宮市に対する感じ方について

(1) 宇都宮市の好き・嫌い

◇ 「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き（計）】が9割強

問1	宇都宮市を好きですか、それとも嫌いですか。	(○は1つ) n=2,434
1	好き	44.7%
2	どちらかといえば好き	46.9%
3	どちらかといえば嫌い	5.3%
4	嫌い	0.7%
	(無回答)	2.3%

<図IV-1-1>全体



宇都宮市を好きか、嫌いか聞いたところ、「好き」が44.7%、「どちらかといえば好き」が46.9%で、これらを合わせた【好き（計）】が91.6%であった。一方、「どちらかといえば嫌い」が5.3%、「嫌い」が0.7%で、これらを合わせた【嫌い（計）】は6.0%と1割に満たない。(図IV-1-1)

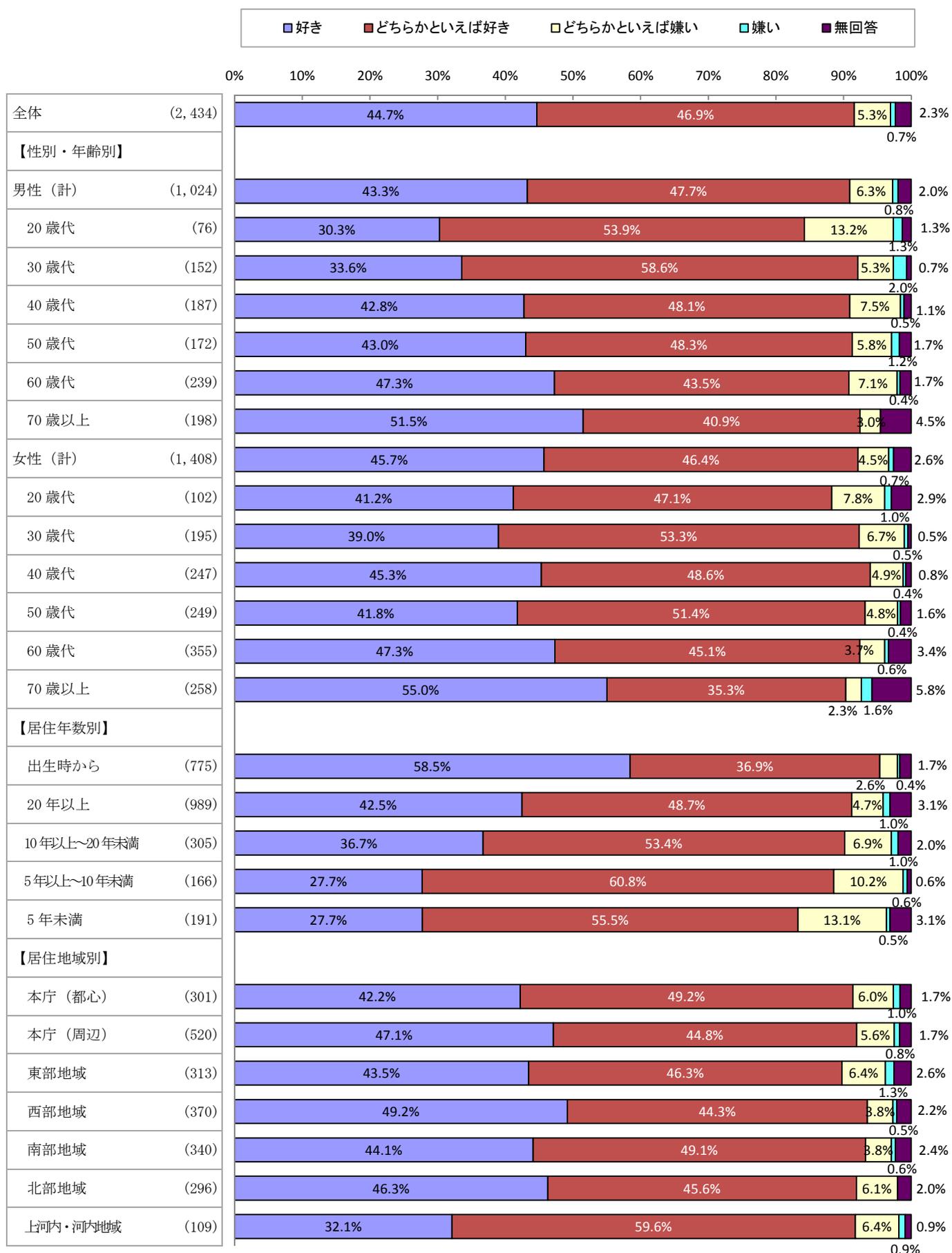
性別・年齢別で見ると、【好き（計）】は<女性/40歳代>が93.9%と最も高く、次いで<女性/50歳代>が93.2%であった。【好き（計）】は、性別・年齢別に関係なく8割を超えている。

一方、【嫌い（計）】は、<男性/20歳代>が14.5%と最も高く、<女性/20歳代>の8.8%、<男性/40歳代>の8.0%と続いている。(図IV-1-2)

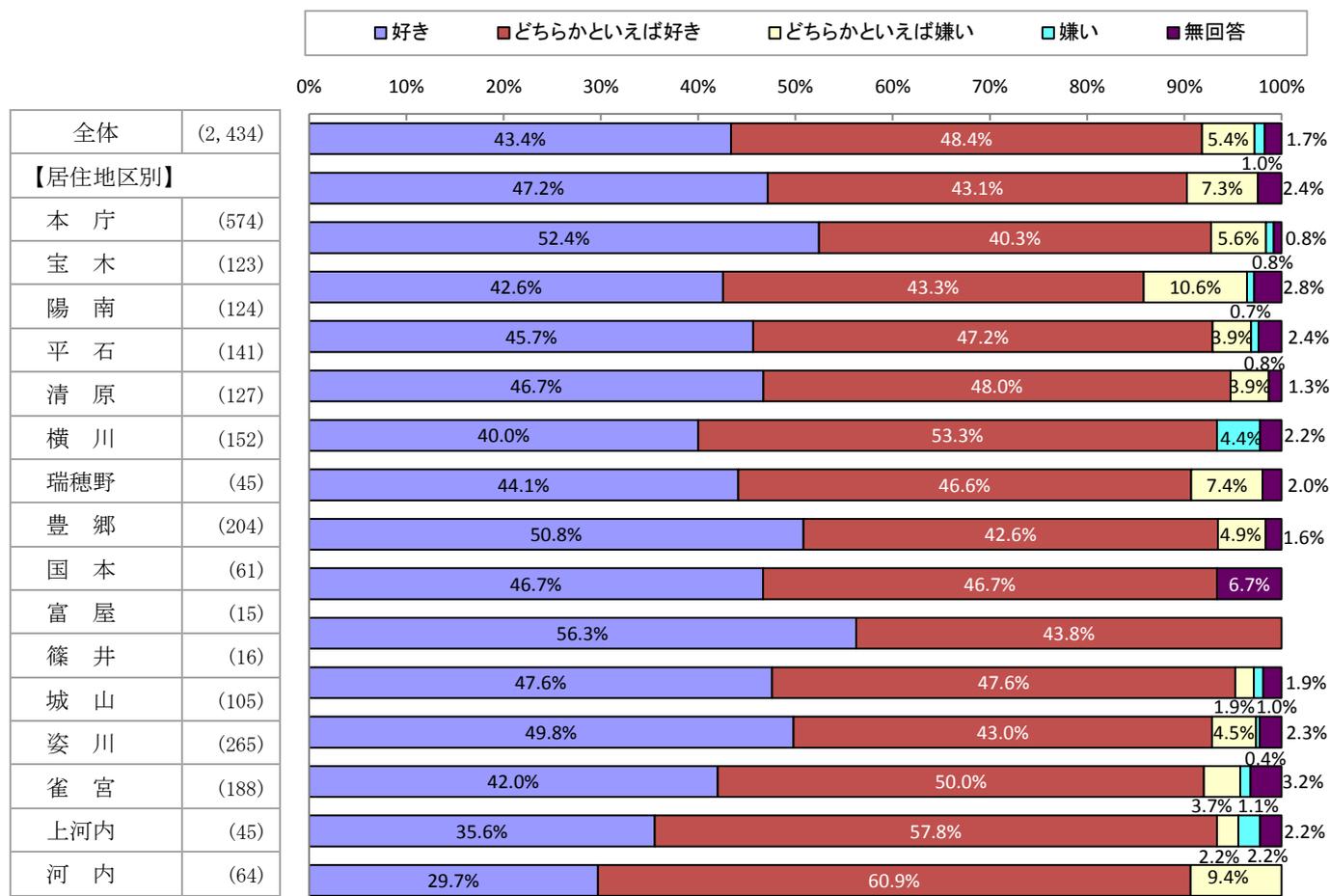
居住年数別で見ると、【好き（計）】は<出生時から>が95.4%と最も高く、次いで<20年以上>が91.2%であった。一方、【嫌い（計）】は、<5年未満>が13.6%と最も高く、次いで<5年以上～10年未満>が10.8%であった。(図IV-1-2)

居住地域別で見ると、【好き（計）】は、<西部地域>が93.5%と最も高く、次いで<南部地域>が93.2%であった。一方、【嫌い（計）】は、<東部地域>が7.7%と最も高く、次いで<上河内・河内地域>が7.3%であった。(図IV-1-2)

< 図IV-1-2 > 性別・年齢別/居住年数別/居住地域別



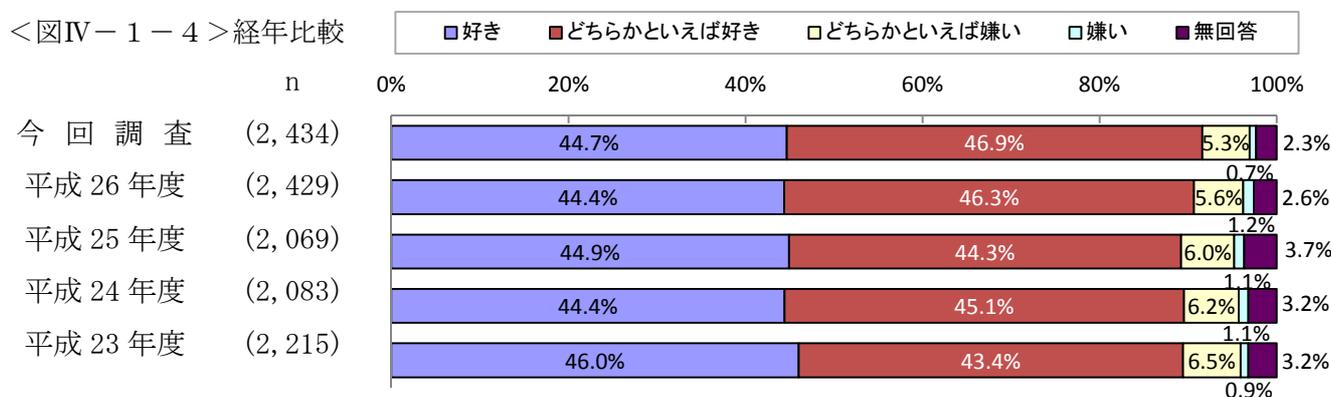
<図IV-1-3>居住地区別



【経年比較】

選択項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
平成 27 年度	44.7%	46.9%	5.3%	0.7%	2.3%
平成 26 年度	44.4%	46.3%	5.6%	1.2%	2.6%
平成 25 年度	44.9%	44.3%	6.0%	1.1%	3.7%
平成 24 年度	44.4%	45.1%	6.2%	1.1%	3.2%
平成 23 年度	46.0%	43.4%	6.5%	0.9%	3.2%

<図IV-1-4>経年比較



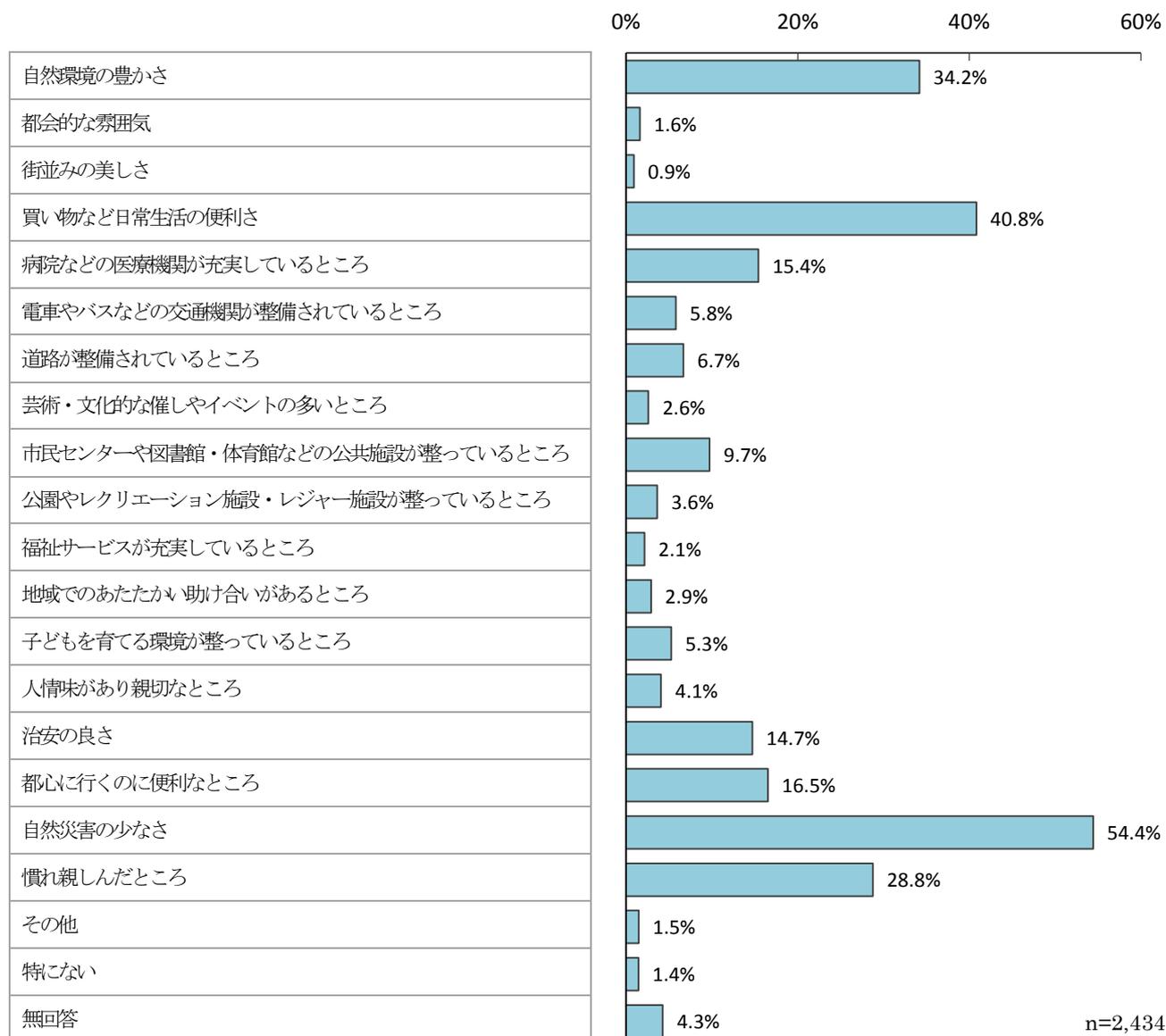
【好き (計)】及び【嫌い (計)】については、過去4年間と比較しても、特に大きな違いはみられない。
(図IV-1-4)

(2) 好きな理由

◇ 「自然災害の少なさ」が5割半ば

問2 宇都宮市の好きだと思ふところをあげてください。		(○は3つまで)
		n=2,434
1	自然環境の豊かさ	34.2%
2	都会的な雰囲気	1.6%
3	街並みの美しさ	0.9%
4	買い物など日常生活の便利さ	40.8%
5	病院などの医療機関が充実しているところ	15.4%
6	電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	5.8%
7	道路が整備されているところ	6.7%
8	芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	2.6%
9	市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	9.7%
10	公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	3.6%
11	福祉サービスが充実しているところ	2.1%
12	地域でのあたたかい助け合いがあるところ	2.9%
13	子どもを育てる環境が整っているところ	5.3%
14	人情味があり親切なところ	4.1%
15	治安の良さ	14.7%
16	都心に行くのに便利なところ	16.5%
17	自然災害の少なさ	54.4%
18	慣れ親しんだところ	28.8%
19	その他	1.5%
20	特にない	1.4%
	(無回答)	4.3%

<図IV-1-5>全体



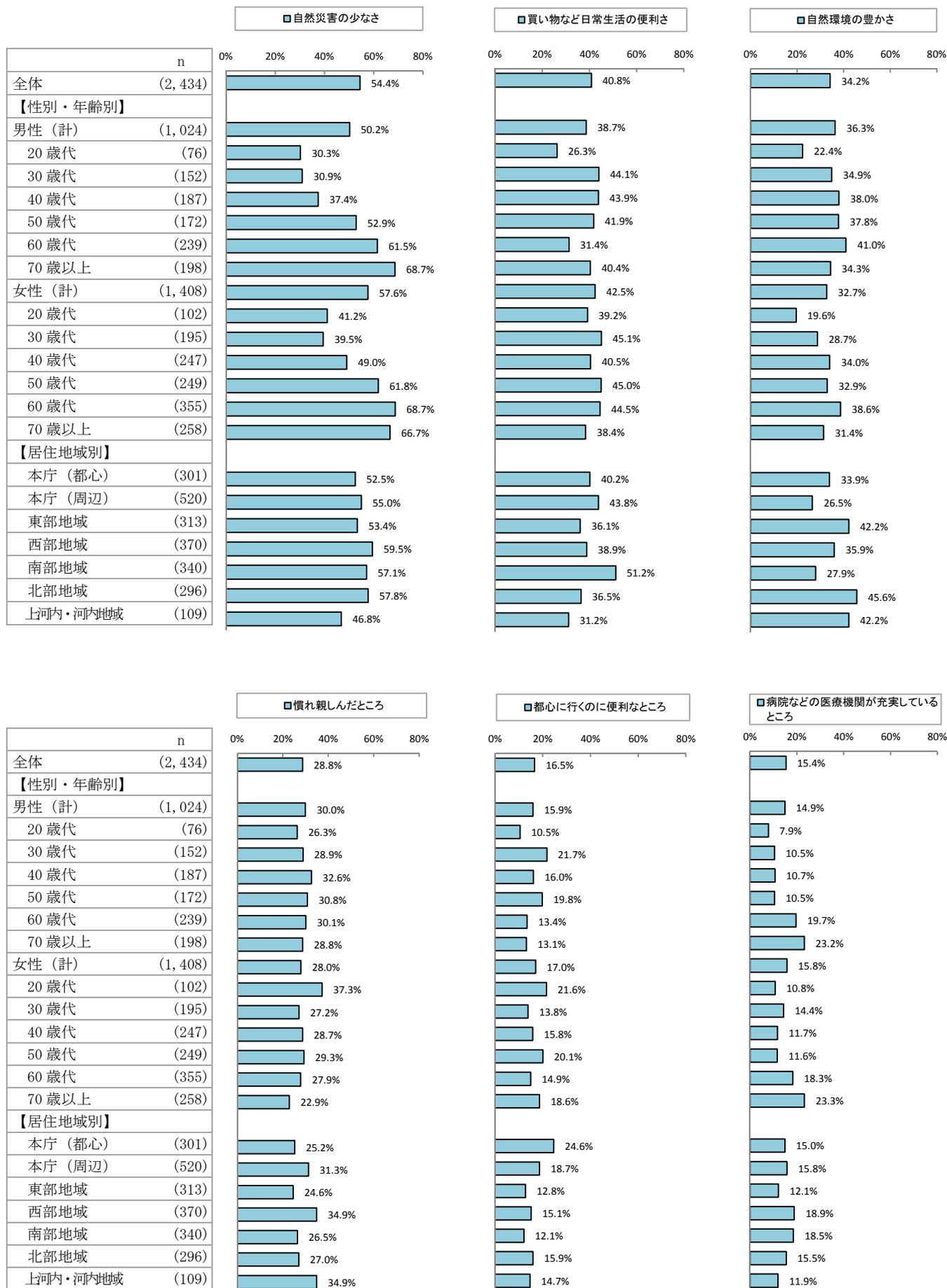
宇都宮市で好きだと思うところについて、1位が「自然災害の少なさ」で54.4%、2位「買い物など日常生活の便利さ」、3位「自然環境の豊かさ」、4位「慣れ親しんだところ」、5位「都心に行くのに便利なところ」、6位「病院などの医療機関が充実しているところ」という順であった。(図IV-1-5)

上位6項目について性別・年齢別でみると、「自然災害の少なさ」は<男性/70歳以上>と<女性/60歳代>が68.7%と最も高く、次いで<女性/70歳以上>が66.7%であった。「買い物など日常生活の便利さ」は性別・年齢別ではあまり変化が見られず、<女性/30歳代>が45.1%と最も高かった。「自然環境の豊かさ」は<男性/60歳代>が41.0%と最も高く、「慣れ親しんだところ」は<女性/20歳代>の37.3%、「都心に行くのに便利なところ」は<男性/30歳代>の21.7%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<女性/70歳以上>の23.3%が最も高かった。(図IV-1-6)

居住地域別でみると、「自然災害の少なさ」は各地域で5割前後となっているが、<西部地域>の59.5%が最も高く、「買い物など日常生活の便利さ」は<南部地域>の51.2%、「自然環境の豊かさ」は<北部地域>の45.6%、「慣れ親しんだところ」は<西部地域>と<上河内・河内地域>の34.9%、「都心に行くのに便利なところ」は<本庁(都心)>の24.6%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<西部地域>の18.9%が最も高かった。(図IV-1-6)

その他の意見では、「温泉・自然・ゴルフ場・職場が近い」「名所(日光や那須)・飲食店・スポーツチームが多い」「都会・田舎のバランスが良い」「生まれ故郷」などがあった。

<図IV-1-6>性別・年齢別/居住地域別（上位6項目）

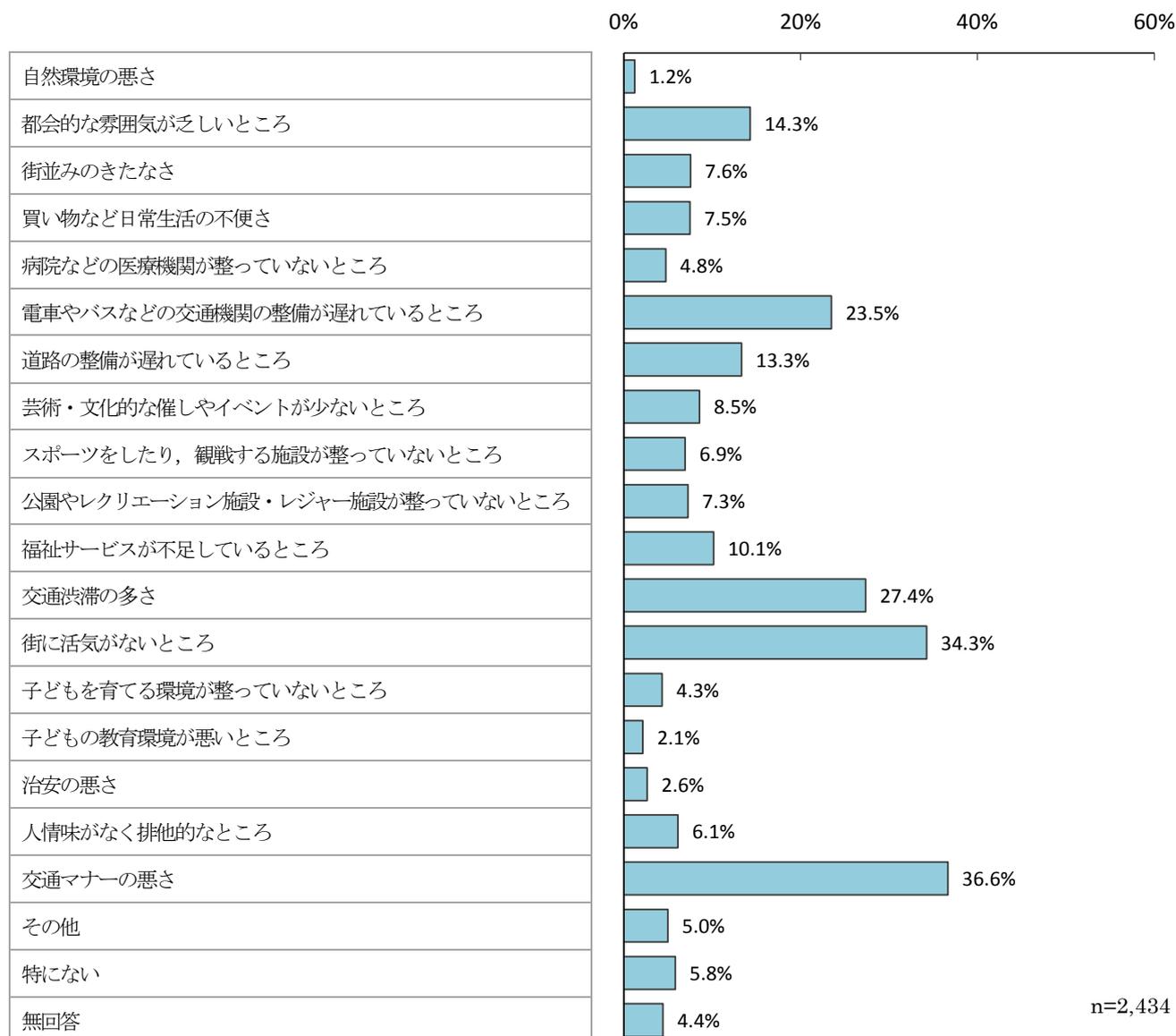


(3) 嫌いな理由

◇ 交通マナーの悪さ」の4割弱を含め、交通関係に不満が多く集まる

問3	宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,434
1	自然環境の悪さ	1.2%
2	都会的な雰囲気が乏しいところ	14.3%
3	街並みのきたなさ	7.6%
4	買い物など日常生活の不便さ	7.5%
5	病院などの医療機関が整っていないところ	4.8%
6	電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	23.5%
7	道路の整備が遅れているところ	13.3%
8	芸術的・文化的な催しやイベントが少ないところ	8.5%
9	スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	6.9%
10	公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っていないところ	7.3%
11	福祉サービスが不足しているところ	10.1%
12	交通渋滞の多さ	27.4%
13	街に活気がないところ	34.3%
14	子どもを育てる環境が整っていないところ	4.3%
15	子どもの教育環境が悪いところ	2.1%
16	治安の悪さ	2.6%
17	人情味がなく排他的なところ	6.1%
18	交通マナーの悪さ	36.6%
19	その他	5.0%
20	特にない	5.8%
	(無回答)	4.4%

<図IV-1-7>全体



宇都宮市の嫌いだと思うところについては、1位が「交通マナーの悪さ」で36.6%、2位「街に活気がないところ」で34.3%、3位「交通渋滞の多さ」で27.4%、4位「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」で23.5%、5位「都会的な雰囲気が乏しいところ」で14.3%、6位「道路の整備が遅れているところ」で13.3%という順であった。(図IV-1-7)

性別・年齢別でみると、「交通マナーの悪さ」は<女性/40歳代>が44.9%と最も高く、次いで<男性/50歳代>は44.8%であった。「街に活気がないところ」は<女性/70歳以上>が43.0%と最も高く、「交通渋滞の多さ」は<男性/30歳代>の35.5%が最も高かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<女性/50歳代>の32.1%が最も高く、<男性/60~70歳代以上>と<女性/60~70歳代以上>は10%台であった。(図IV-1-8)

居住地域別でみると、「交通マナーの悪さ」は<本庁(周辺)>が41.9%と最も高く、「街に活気がないところ」は<西部地域>が40.3%と最も高く、「交通渋滞の多さ」は<東部地域>が34.8%と最も高かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<東部地域>が35.1%であった。(図IV-1-8)

その他の意見では、「自転車が走りにくい」「自動車利用に関する意見」「税金が高い・使いみち」などがあつた。

<図IV-1-8>性別・年齢別/居住地域別（上位6項目）

